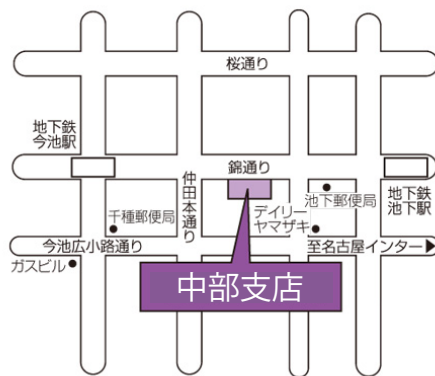


# オペレーターユーザー会

日本国内では多くの歯科医院でレーザーが導入されており、歯周疾患、外科処置、審美歯科への応用と日常臨床の中で幅広く活用され、患者の皆様へも「レーザー」が広く知られるようになって参りました。レーザーに対する知識だけでなく、エビデンスに基づく照射方法の技術も近年求められるようになってきております。そこで弊社では、各分野でご活躍されている4名の講師に、炭酸ガスレーザー・半導体レーザーについてご講演いただきます。是非ご参加くださいますよう、心よりお待ちしております。

- 開催日 **2019年 11月 10日** (日)  
**10:00~16:00**
- 会場 **株式会社ヨシダ 中部支店**  
名古屋市千種区池下 1-7-3
- 定員 **40名** オペレーターユーザー様  
またはレーザー未導入の先生
- 受講料 **5,000円** (昼食・消費税込)



**お申込方法**

ヨシダホームページまたはFAXにてお申込みください。入金確認をもって受付とさせていただきます。

**お支払方法**

下記口座へお振込ください。WEBからのお申込時は、クレジットカード決済も可能です。

**三菱 UFJ 銀行 今池支店**  
**普通 0031058 カ)ヨシダ中部支店**

**お問合せ先**

**株式会社ヨシダ** 中部支店 担当：柳沢  
**TEL.052-762-3701 FAX.052-762-3701**

ヨシダホームページ▶

<https://www.yoshida-dental.co.jp>



※お振込の際は依頼人名欄に受講者名をご記入ください。  
※お振込手数料はお客様負担でお願い申し上げます。  
※お振込用紙をもって領収書に代えさせていただきます。  
※ご入金いただきました受講料は返金致しかねますのでご了承ください。

**●2018年4月新規保険収載されました**

- ・口腔粘膜処置 (1口腔につき) . . . 30点
- ・レーザー機器加算1 . . . . . 50点
- ・レーザー機器加算2 . . . . . 100点
- ・レーザー機器加算3 . . . . . 200点

**●ユーザーの為の会員制情報サイト**

オペレータークラブ

**OPELASER CLUB**

オペレータークラブ 検索 <https://www.opelaser-club.com/>

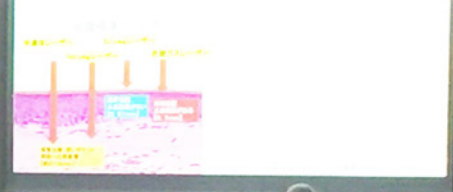


「オペレーターユーザー会」申込書 FAX: 052-762-3701

2019.11.10 中部

<p>(ふりがな) 芳名</p> <p style="text-align: right;"><input type="checkbox"/> 院長 <input type="checkbox"/> 勤務医</p> <p>(ふりがな) 同行者芳名</p> <p style="text-align: right;"><input type="checkbox"/> 院長 <input type="checkbox"/> 勤務医</p> <p>お取引歯科商店</p> <p>～ 質疑事項がございましたらご記入下さい ～</p>	<p>貴医院名</p> <p>貴医院住所 〒</p> <p>TEL. ( ) FAX. ( )</p>
---	---

※弊社では申込書にご記入いただいた情報は、社内で適切な安全対策の元に管理し漏洩等の防止に努めております。お客様の同意なく第三者への開示・提供はいたしません。弊社からのセミナー、サービス、新商品のご案内等に利用させていただく場合がございます。



## 岡田 修二 先生 (大阪市北区)

大阪歯科大学卒業

【現在】

岡田歯科医院 開業



▶炭酸ガスレーザーとNdヤグレーザーの2機種を臨床に使用して、既に20年以上経過しました。しかし今でも新しい発見があり、その効果には改めて驚かされます。3年前と現在では、レーザーに対する考え方も使い方も全く異なり、自分の診療ばかりか診療所さえも変貌しました。レーザーを使う事で、歯科医療が本当に変えられます。診療に革命を起こす事が出来るのです。本講演では、我々歯科医師の自己満足や作品作りのお話ではなく、本当の意味で「患者サイドに立った患者の為の診療」が出来る事を、是非皆様にお伝えしたいと思います。

▶炭酸ガスレーザーを勤務医時代から10年以上使用し、今でも毎日使用しない日はないほどである。口内炎の消炎処置から、予防処置、外科的処置など幅広く臨床応用でき、近年では保険治療でのレーザーの算定の範囲も広がってきている。今回は炭酸ガスレーザーの特徴とともに、様々なシチュエーションでいかに有用で適応範囲の広い機器であること、特に抜歯やインプラントなどの外科処置に対し、低侵襲な処置を可能にし、患者さんに対してのアピールポイントとしても有効であることも含め、臨床例とともにご紹介したい。

## 寺本 清峰 先生 (名古屋市東区)



愛知学院歯学部卒業

【現在】てらもと歯科医院 開業

【所属】日本顎咬合学会 認定医

日本臨床歯周病学会 会員

日本口腔インプラント学会 会員

日本臨床歯科医学会 (SJCD)

名古屋支部専務理事

NOAH (名古屋臨床咬合研究会) 会長

▶診療室には4種類の波長のレーザーを設置していますが、その使用頻度は炭酸ガスレーザーが9割以上です。このため、日々の診療には5台の炭酸ガスレーザーを多種多様な治療に応用しています。その治療の中で、口腔粘膜処置は以前から頻繁に行っており、レーザー機器加算とともに軟組織へのレーザー治療が保険診療で算定できるようになった事は大きな意義があると思われれます。もともとレーザーを日常臨床で使用する事により、臨床レベルの向上、治療時間の短縮、新しい自費診療の開拓などが期待でき、患者さんからも、その価値を認めていただけるようになります。本講演では、一般的なレーザー治療と、最近の学会、講演会等で話題になることが多くなった治療法、炭酸ガスレーザーの注水下での使用、スキャニングハンドピースを用いた照射、半導体レーザーとの併用治療等について動画などにより解説いたします。

## 三輪 雅彦 先生 (長野県下諏訪町)

日本歯科大学卒業

日本歯科大学附属病院補綴講座

博士 (歯学)

【現在】(医) 三輪歯科医院 開業

【所属】日本歯科補綴学会 指導医

日本歯科用レーザー・ライト学会 理事

日本レーザー歯学会 専門医

日本咀嚼学会 評議員

日本レーザー治療学会<医科>

日本全身咬合学会 評議員

日本顎咬合学会 咬み合わせ専門医



▶平成30年度診療報酬改定により炭酸ガスレーザーは口腔粘膜処置、レーザー機器加算が保険算定できるようになりました。しかし、再発性アフタ性口内炎治療における口腔粘膜処置の保険算定は1歯科医院当たり平均5件/月程度、レーザー機器加算はもっと保険算定が少ない状況です。皆さんにもっと臨床に応用し、保険算定していただきたいと思えます。もっと保険算定していただくために適用症例における保険算定方法と適切な照射方法を理解していただくと共にレーザー照射を行うにあたり必要な安全照射のための基本的な考え方、禁忌事項、注意事項、有害事象についてお話します。

## 大浦 教一 先生 (鹿児島市)



朝日大学卒業

鹿児島大学大学院歯学研究科修士 歯学博士

鹿児島県立大島病院勤務歯科口腔外科部長

【現在】大浦歯科クリニック 開業

【所属】日本レーザー歯学会 指導医 常任理事

日本歯科用レーザー・ライト学会 指導医 常任理事

国際レーザー歯学会 会員

日本先進インプラント医療学会インプラント専門医指導理事

各種展示機をご用意しております。休憩時間には実際にお手にとってお試しいただけます。

**YOSHIDA**